

# 感動県政 あさのめ 新聞

## 埼玉県議会活動報告 2017.03.20 vol. 53

発行 埼玉県議会 民進党・無所属の会 さいたま市浦和区支部 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501

### 移転発表から5年余 小児医療センターオープン



**子どもたちの未来は  
私たちの未来**

(左) 県立小児医療センター  
(右) さいたま赤十字病院  
JRさいたま新都心駅から徒歩約5分

**県議会自民党の不毛なバトル乗り越え**

平成26年2月 新病院起工式。県議会自民全員欠席。

3月 55億増額の補正予算案に、委員会で県議会自民反対。県議会自民本会議でも反対し、55億減額案を提出。県医師会、連合埼玉など16団体が建設要望を緊急提出。

4月 臨時議会で再審議。55億増額の補正予算案に、今度は県議会自民委員会でも本会議でも賛成。工事再開。

平成28年10月 新病院完成記念式典。県議会自民ほとんど欠席。

## 代表質問に立つ

浅野目は、民進党・無所属の会を代表して「代表質問」に立ちました。平成29年度埼玉県予算に対して、その編成の背景、哲学などに対して質しました。主な質問項目は次の通りです。

1. 埼玉県の「超高齢社会」突入への認識を問う
2. 高齢者の社会的孤立対策を急げ
3. 健康長寿埼玉プロジェクトの検証
4. 子供の貧困対策を真剣に取り組め
5. 保育人材確保の政策総動員せよ
6. 外国人児童生徒の孤立化防げ
7. 命を守るため  
ホームドア設置急げ
8. さいたま新都心医療拠点の  
立ち上がり状況示せ
9. 先端産業創造プロジェクト  
進化させよ
10. 同一労働同一賃金の理念  
阻害するな
11. 不本意非正規雇用者の正規  
雇用化に向け積極的に  
取り組み
12. 圏央道開通を契機とし  
企業誘致推させよ



県立小児医療センターは、昨年12月27日赤ちゃんなど入院の患者さん35人の移送を終えました。移送で使われた高規格救急車の誘導を、県警が全面的に協力するなど、手際よく無事、終了しました。今年1月5日から外来診療がスタートしています。ここに同センターのさいたま市岩槻区から中央区への移転が完了しました。

同センターは、1月1日に小児救命救急センターに指定されました。隣接されているさいたま赤十字病院と連携して、妊娠・出産から新生児の治療までを一貫して行う「総合周産期母子医療センター」として機能します。この病院の開院により、多くの県民に高度な医療を提供し、命を守り抜くことが可能になりました。

## 新生児集中治療室30床に



藤駅で、盲導犬を連れた男性が線路上に転落死亡した事故現場で現地調査。代表質問などで、県補助金をつかったホームドア設置を強く求め、実現に至らせる。

### 浅野目義英 (あさのめ・よしひで) プロフィール

昭和33年5月27日東京生。山形県米沢市育ち。法政大学社会学部卒。小学校教員を経る。隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。市議4期(25~41歳)。37歳で全国最年少議長。上尾市長選挙次点敗退。予備校講師、鮎井屋でひたすらマグロを切る仕事、武正公一代議士政策秘書など、政治浪人7年余を経て、平成19年埼玉県議会議員トップで初当選。平成27年埼玉県議会議員トップで3期目当選。平成28年4月、埼玉県議会 民進党・無所属の会 代表に就任する。



2017年  
1~3月  
**人の輪の中へ!!**



別所沼公園のランニングコースを走るチャレンジ2020 (連続2020日フルマラソン) に、仲間と参加しました。



大東自治会館落成記念式典に伺わせていただきました。地域のみなさん、建設に携わった方々、役員の方々などで佳き日を祝いました。



西アフリカのトーゴ共和国・セダミヌ大使が、「あさのめ県政報告会」にお越しになられました。



